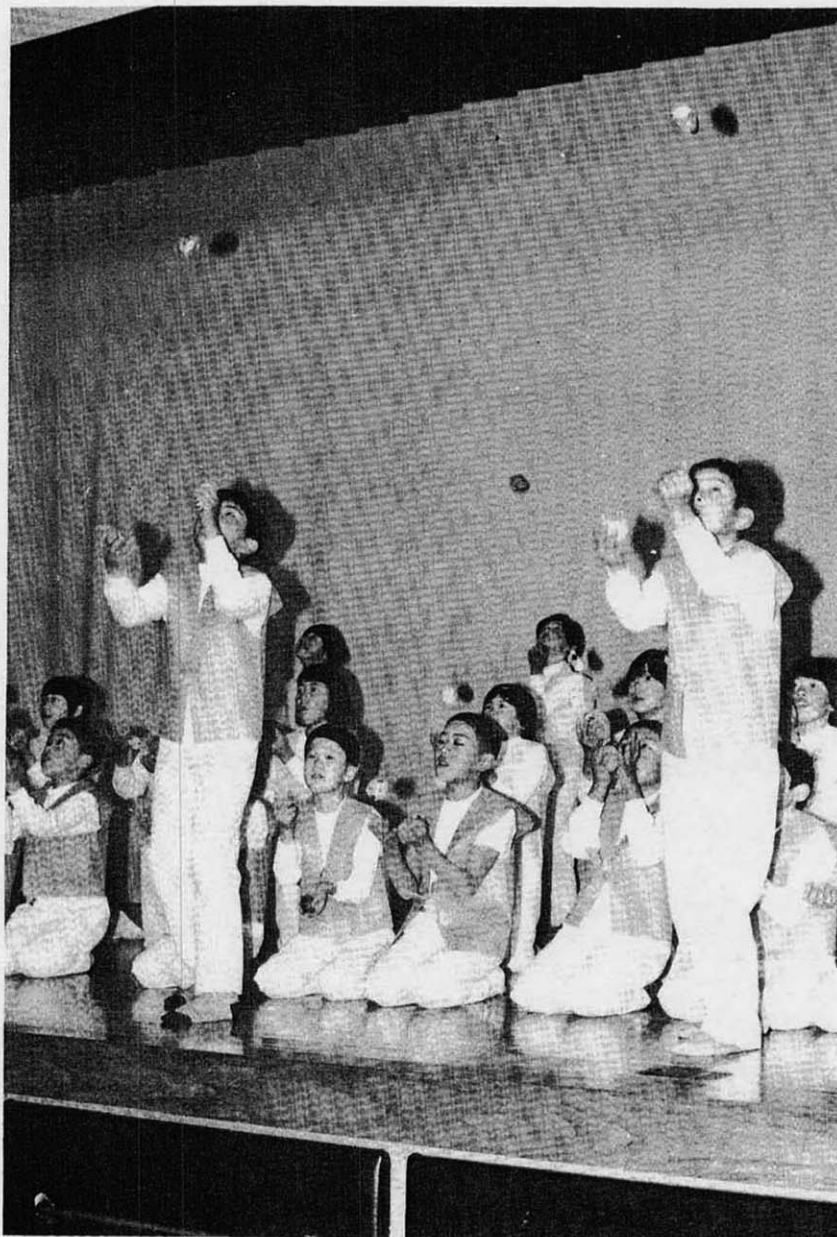


3月号



「西条山は 霧深し
千曲の川は 浪あらし」
お手玉が 一せいにあがる
二つのお手玉
三つのお手玉
休みなく 手を伝わり
空中を回る

舞台の上で
チャンチャンコ
昔の遊びを そのままに
サク サク サク サク
お手玉は
曲にのって おどってる
今日は お手玉大スター

(伝承遊びを舞台上で演ずる—山中小)

昭和57年3月1日
編集/発行
岡崎市教育委員会



親の温かさ先生の懐しさ

太田 一夫

—教育随想—

時の流れは早い。またたくうちに明治から大正へ、そして昭和の戦前から戦後時代へと移り変ってしまった。この刻一刻の変化の中には目に見ゆるものと、見ようとしても見られぬものがある。

文化が別の道から人間をその求める方向へ誘ってくれる。藁ぶきの家などなかなかみつからないし、舗装してない道は道ではないと思われようになった。雨が降っても唐傘をさして高下駄をはく人を見かけない。自動車がいっぱい走っている。汽車はいつの間にやら電車、新幹線と変化している。

いい時代と、ひとくちに評する人がある。そうかもしれない。食べ物に事欠かず、ぜいたくも自由に求められて、それが悪い時代であろう筈がない。いい時節だと言える人は、ほんとうのことを申しているように見えるが、もう一步突込んで

考えてみたとき真に良き時代と言い切ることができようか。

向う三軒兩隣の親愛が薄れて時には隣人の顔さへ知らぬ人々がある。人を見たら泥棒と思えというくらい、きびしい対人警戒があるようにさへなった。自分だけの幸せ、自分だけうまいことができたらそれで最上なのであるか。というと考える人々は心の苦痛を押しえかねるはずである。

宮本武蔵は、関ヶ原の戦いの頃から世間に立ち、三代將軍家光の時代まで約六〇年を無類に生き抜いて来た一世の劍聖であるが、彼は少年の頃ふとしたことから現在養ってかれている両親が実の父母でないことを知ると、とたんに「手に負えない子」になってしまった、と古書は誌している。なぜ、俄に少年武蔵は人間が変ってしまったのか。

生涯に六十余度の試合をなし一度も敗けたことのない武蔵。志を天下に立て將軍の兵法師範たることを望んだがそれだけは叶わなかった。後年熊本藩細川侯の知遇をえて客分となり、後世に名だたる「五輪の書」を著した武蔵。彼は今も尚劍聖と言われるだけに、武芸百般はもとよりのこと学問、芸術、とりわけ書、画、彫刻に秀で、その深奥に達した哲理は尊い言葉となって残されている。その言に曰く「人の世は向上にある。常に努力、工夫創造して、無限の理想に向かつて無限に向上して行かねばならぬ」と。

武蔵は母の愛に飢えその慈しみを得られなかつたことに心から泣いた。手に負えない悪童となつた根拠はここにあつた。子にとつて親ほど頼もしいものはない。とりわけ母の愛は何物よりうれしい慈愛である。今、夫婦共稼ぎの時代となりきて母を見ず帰宅して母いままぬこと当り前の姿に化している。母を呼ぶ声は子にとつて安心と力をうる為である。母の姿と声に遠ざかれば心が涸れてくる。

その上、学校の制度も変つた。進学という見えない勉強競争が心の上にとかつたのしかかつてきている。先生も幸い。生徒も苦しい。でも具つていない見識や知識を我がものとする為には生徒は先生を頼りにしなければならぬ。先生の責任は重大である。師と仰がれる価値を養いおかねばならない。恩師という傍がやがてそれら生徒の頭に芽生えるように。

(元衆議院議員)



セブ島の戦跡を訪ねて

蜂須賀千代子

一度は訪ねてみたいという念願がかない、八月末、セブ島をおとすれた。

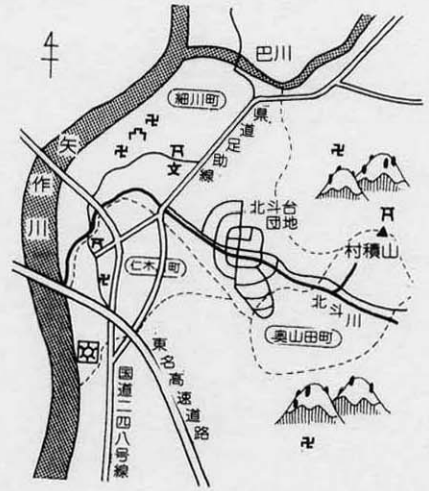
一夜あけ、朝食時に今日の予定を尋ねられた。義兄の戦死した「天山」へ行きたいが、誰に聞いてもわからず、困っている事情を話すと、

「自分達は今から出掛けます。一緒にどうですか。天山を知ってみるとは」といわれ、感謝し、大分県の旧軍人の方の車に同乗した。

天山とは日本軍が名付けた地名であつた。狭い山道を通り抜けた山奥にある防空壕に、カルメンにある日友友好の家の慰霊塔に、各県から持参して建立された墓標の数々に線香をあげ、合掌し、亡き人の冥福を祈つた。

美しい海を眺めながら、もぎたての椰子の甘い汁をすすり、バナナのでんぶらに舌つづみを打つた。戦犯に問われ亡くなられた方々の思い出を語られ、昔の事が夢のように思われた。

この地では、二、三時間で数百人の方



—ふるさとの山河—

北斗川

—その兩岸に広がる北斗台地—

細川学区のほぼ中央を東から西に流れ矢作川に注いでいる小さな川が北斗川である。村積山越しや恵田越しに端を発し、矢作川に合流するまで、わずか七キロメートルほどであるが、細川の歴史を私たちに語りかけてくれる。

源の村積山は、幾多の伝説を生み、今も昔と変わらぬ美しい姿を残している。頂上には、物部真福の手によるという村積大明神がまつられている。その脇には、后照権現といって、細川氏を名のつた義季と弟の義宗の墓がある。細川氏は、村積神社を厚く敬ったが、このことは、神紋の九曜紋を細川氏の家紋としていることから推しはかれる。

上流から下流へと下るにつれて、ところどころに堰があることに気づく。水量が少なく、水田との高低差があるため、田に水を入れやすくしたものである。また、河口付近には、水門が設けられてい

る。矢作川の堤防工事が十分でなかったころ、大雨が降るたびに水が逆流し、被害をよく起こしたという、水量に応じて開閉したり、上流に用水池を造ったり、砂防のための植林をすることによって、今では立派な農地になっている。奥山田町はもとより、細川・仁木町の農業用水は、この川によるところが大きい。

昭和四十年代になると、この流域にも都市化の波が押し寄せてくる。なかでも四十五年から開始された北斗台地造りは、その顕著な例である。北斗川の名前にちなんでつけられたこの団地付近は、かつて川に沿った狭い谷で、田と山ばかりであり、家は一軒もなかったところである。三交不動産のはたらきかけと、学区を發展させたいと願う地元の人たちの協力で、四十六・六ヘクタールという広い土地が住宅地になった。恵まれた自然環境と、豊田市や岡崎市中心部への交通

の便のよさが、宅地造りに適していたといえよう。

団地造りに合わせて、北斗川の川幅が二メートルから六メートルに広げられ、兩岸の護岸補強整備とも相まって、スムーズに水が流れるようになった。川によって南北に分けられた形になっている団地も、第一から第五までの北斗橋によって結ばれている。それらを包み込むように、広い道路が同心円状に走っている。七百五十世帯の新しい町の出現によって、開発前のおもかげはほとんど残っていないが、北斗川の流れは、昔のようすを伝えている。歴史を刻み、学区民の生活上に貢献してきたこの流れは、いつまでも消らかであってほしいものである。

(細川小 平野有行)



北斗川と北斗台地

々が亡くなられたと聞いた。今は現地の子ども達が元気よく駆けている。人と人との因縁を強く感じ、感無量の旅であった。

レストボーイ

吉田 正明

(六ツ美中)

世界アーチェリー選手権大会出場のために二週間ほどイタリアに行き、多くのイタリア人に接触できた。

泊ったホテルのレストランでの出来ごとであった。あるボーイがからの大きな皿を落して割ってしまった。一瞬どうなることかと思った。その時、それを見たボーイが、「よく割った」と言わんばかりに拍手をした。それが次から次へとボーイに伝わり、やがて客にまで広がって大きな拍手の波となった。ちよつとした英雄視のようであった。その後またびたび、同じように皿の割れる場面に出合ったが同じようなことがされた。イタリア人の陽気なところを見せられたようであった。

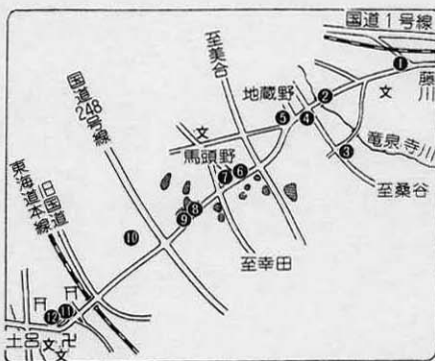
デザートにはよくくらんぼが出た。

ボーイに、口中で舌先を使って柄を結んで見せたところ、翌日、何か口をもごもごさせていたと思ったら「できた」と言ってみせて見せた。それが他のボーイにも伝わり、いつの間にかやらの全部のボーイが口をもごもごさせて、できると私に嬉しそうに見せて来た。のんびりと陽気に過ごせた二週間であった。

(六北小)



5



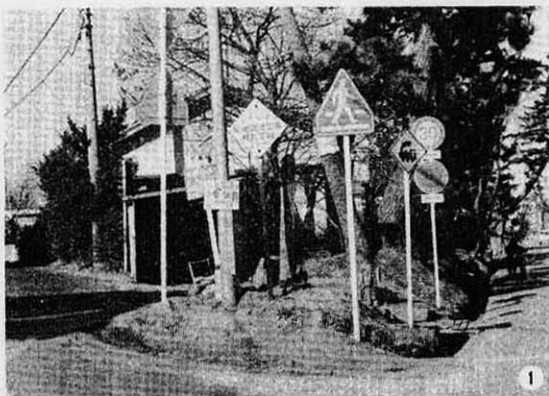
34 吉良街道

吉良街道は、東海道の藤川より分岐し、土呂を通って西尾に達する道である。

旧街道を探る「岡崎再見」の一行は、まず「吉良道」の道標（藤川小学校に移されている）の文字をさぐり、十王堂の芭蕉句碑にしばし往古をしのぶ。

養川の常夜燈、龍池碑などにひそかに息づいている過去に心をよせながら、馬頭地内に入る。郷中を抜け、曲りくねって田の中へ延びる農道に街道の痕跡を見る。馬頭を過ぎてから上地八幡宮までの変貌は激しく、大谷池あたりの脇道にわずかに昔の面影を残すだけになってしまった。上地八幡宮の境内を真二つに断ち切った東海道線。それらの変化は、感傷を寄せつけぬほど残酷であった。

土呂は街道の中心地であった。岡崎城を中心にしてものを見る見方に慣れてきているが、土呂を起点にして岡崎を見たらどうなるか。これが、今回の再見のテーマとなった。



1



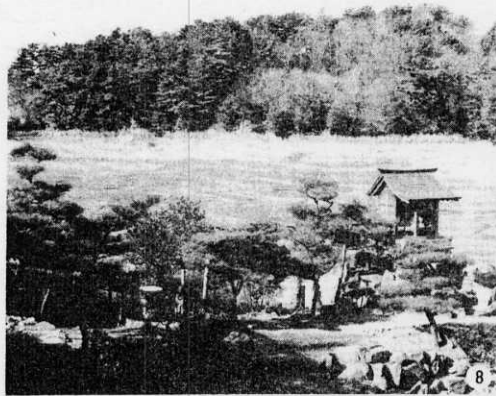
2



4



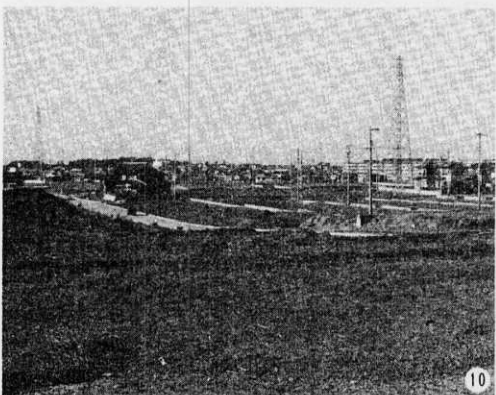
3



8



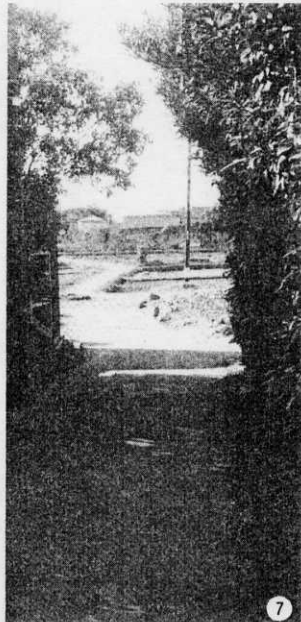
9



10



12

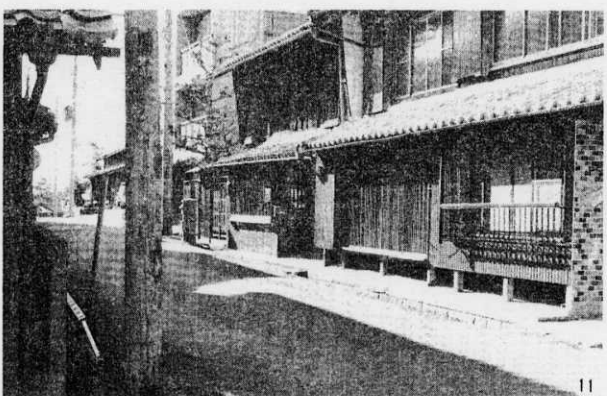


7



6

- ① 東海道との追分け。松並木と別れて吉良道に入る。
- ② 昔の面影が残る竹藪の道。
- ③ 大久保氏一族の菩提寺長福寺。
- ④ 尾尻の辻に建つ龍池碑。京ヶ峯山麓に築いた溜池でこの一帯が美田と化したという。
- ⑤ 地蔵野の名の起こりの地蔵尊。
- ⑥ 馬頭の観音寺三十三観音。
- ⑦ 観音寺より西へ、畑の中を明治以前の旧道が続いている。
- ⑧ 大谷池。三池黒龍王神ののぼりが立つ向うには、幸田へぬける新道の工事が進んでいた。
- ⑨ ここで龍神様を祀っている上地の野沢さんから、このあたりの様子を聞く。
- ⑩ 新開発された上地の台地。明治初め、畔柳五郎衛門が苦勞して開拓した水田も今はすべて宅地と化した。
- ⑪ 土呂の町の面影を残す町並。
- ⑫ 蓮如上人の旧跡土呂本宗寺。本坊は現在美合にある。



11

最優秀賞

●個人研究の部

氏名	学校名	研究主題
鶴田 紀美子	六名小	M子を育てた音読の力
石原 博文	甲山中	問題意識を大切にす授業過程

優秀賞

大久保 幾三	美合小	表現力を高める指導の実践
太田 裕子	城南小	イメージをふくませながら楽しく読む物語文の指導
加藤 順子	竜谷小	調べる活動を主軸にした社会科
鈴木 武	細川小	ゲーム作りから追求意欲を高めた算数学習
水野 昌孝	城南小	小数の確かな計算力の育成
酒井 定	竜美丘小	事象を見つめ関係づけて自然のきまりを追求する子どもの育成
稲垣 幸一	竜美丘小	自然にはたらきかけ自然を深く見つめる活動を通して
平岩 浩文	広幡小	自然を調べる活動を通して考えを深めていく子を育てる
林 和泉	恵田小	子どもの心の叫びとしての歌づくり
松岡 育代	矢南小	生き生きと表現する子どもをめざして
鈴木 幸子	梅園小	心情を高め心の目を育てる絵の表現指導
大久保 厚子	緑丘小	子どもがつくる楽しいゲーム学習の展開
清水 裕	城南小	四年生の克服的スポーツの取り組みについて
内藤 浩子	竜美丘小	消費者教育をふまえた家庭科指導
飯尾 とさえ	美合小	道徳的実践力を培う道徳指導
中山 秀昭	根石小	鍛え合う学級集団をめざして
市橋 章夫	梅園小	子どもとともに歩む学級に
鈴木 吉夫	美合小	勤労体験学習のあり方を求めて
豊田 弓	竜美丘小	表現活動を基底にした学級づくりの実践
藪田 篤夫	緑丘小	買物学習についての考察と実践
内藤 修	岩津小	ことばの指導
酒井 豊	大門小	社会科指導におけるVTR教材の有効性
梅村 成美	根石小	読書の楽しさをめざして
竹内 順子	細川小	学校保健の推進を願って
神尾 昌彦	広幡小	粘り強く問題を追求する子の育成
岡田 豊	六ツ美中	形成的評価を取り入れた授業実践
藤井 孝弘	城北中	数学的な見方、考え方を伸ばす単元構成
藤内 昭次	香山中	郷土教材を効果的に利用した理科学習の指導のあり方
加藤 一彦	甲山中	基礎基本を大切にす書写指導
酒井 正子	六ツ美中	ひとりひとりを生かす音楽学習
鴨下 智幸	美川中	楽しさ喜びを深める体育指導

最優秀賞

●共同研究の部

氏名	学校名	研究主題
理科部	梅園小	問題意識の連続する理科学習
葵中学校国語部	葵中	自律と感動の国語教育を求めて

優秀賞

5年国語部会	細川小	課題追求の授業を旨として
2年部会	岩津小	基本的事項の定着を旨とした算数指導
2年部会	竜美丘小	認識の深まりを求める理科学習
音楽部	岡崎小	音楽集会の実践指導
教科外研究部	井田小	生活化をめざした井田小の70分間運動
白井紀子外3名	矢東小	実践的、体験的な家庭科学学習の追求
道徳研究部	美合小	道徳の授業
特活部	広幡小	学年集会活動のあり方を求めて
1年部会	大樹寺小	テレビ番組に実感を求めるために
保健安全研究部	井田小	風の子、太陽の子
竜海中学校社会科部会	竜海中	社会事象を多面的に追究する社会学習指導
葵中学校社会科部会	葵中	生徒の見方、考え方をいかにして深めるか
葵中学校数学部会	葵中	自ら見出し、自ら追究していく態度と能力の育成
常盤中学校現職教育部	常盤中	ゆとりの時間を生かした「ときわの学習」

56年度教育研究論文入選者

応募総数 406 小学校 個人 247 中学校 個人68
 共同 61 共同30

佳作

●個人研究の部

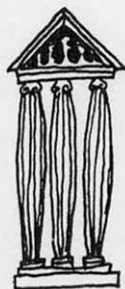
鈴木 ゆき子	梅園小	内田 ひろみ	六名小
桑木 富士子	美合小	長谷川 晴彦	三島小
片山 美恵子	美合小	深谷 友一	福岡小
島田 成子	緑丘小	飯見 紀男	梅園小
高橋 純子	羽根小	安杖 康則	三島小
野々山 周次郎	六名小	鈴木 勘三	井田小
岡山 由美子	六名小	村上 信良	緑丘小
稲垣 房子	愛宕小	山田 徳丸	常盤東小
尾崎 貴美子	生平小	中村 郁夫	細川小
近藤 正代	恵田小	近藤 克子	矢北小
山田 一夫	矢西小	岡本 孝幸	六南小
高木 明子	城南小	井上 まさ子	根石小
稲葉 道彦	美合小	稲垣 敏子	矢西小
神尾 房江	竜谷小	鳥居 陽子	岡崎小
山本 頼永	緑丘小	三木 世紫枝	広幡小
山本 誠	六名小	黒柳 一夫	岩津小
山本 信幸	広幡小	太田 晋	常盤小
小栗 正貴	常盤小	堀 和正孝	矢西小
平野 有行	細川小	呼柳 喜一	竜海中
小池 剛	矢北小	藤江 敏夫	東海中
佐野 恵広	広幡小	伊奈 福久代	矢作中
岩瀬 義弘	岩津小	平岩 昭	岩津中
中川 朗子	大門小	菅原 秀美	六ツ美中
柴田 安則	矢東小	山本 禎夫	矢北中
牧 喜久雄	矢東小	杉浦 千恵子	城北中
清水 英子	竜美丘小	鈴木 由郎	矢北中
宮崎 昌子	井田小	朝雄 伸子	城北中
三浦 重光	常盤南小	名倉 昭人	矢作中
高見 和仁	恵田小	山本 悟	東海中
松井 幸彦	六北小	高木 和広	美川中
天野 道晴	六南小	後藤 晶基	矢北中
白井 紘子	羽根小	荻須 恵美	岩津中

佳作

●共同研究の部

下学年部会	美合小	6年部会	根石小
2年部会	大門小	緑化推進委員会	根石小
6年部会	藤川小	生活指導部外8名	岡崎小
水沢 伝外2名	岩津小	現職教育部	常盤南小
山中三江子外3名	城南小	現職教育部	矢北小
4年部会	竜美丘小	1年部会	藤川小
音楽部	梅園小	小沢 弘外1名	竜海中
体育部	岡崎小	矢作北中学校数学部	矢北中
本田雅彦外8名	井田小	蓮尾 均外1名	岩津中
交流教育推進部	本宿小	香山中学校現職教育部	香山中
視聴覚部	大樹寺小	加藤 富雄外	矢作中
5年部会	大樹寺小	兼平友子外	東海中
環境整備部	矢北小	竜海中学校第1学年部会	竜海中
5年研究部	根石小		

教育日々



一人一人を

みつめる喜び

羽根小 高橋 純子



ら読むのが楽しみの一つとなつてゐる。そして、みんなに紹介したいこと、考えてみてほしいことなど、学級通信「なかよし」に載せている。

一日を振り返つて書くことが自分を見つめ直すことになるのか、だんだんと子どもたちの書く文章の内容も深まり、成長が感じられることもとてもうれし

い。
T夫も、近ごろ特に書く内容がかわつてきた一人である。彼は、何かを組み立てたり、精密な絵（というより図）を描くことは得意であるが、人と交わること、自分を表現すること、人物を描くことなどに、まるで興味を示さず、なんとかしくなくてはと思ひ続け、働きかけをしてきた子であった。

その彼が、「ぼくの手と、たけちゃんの手がききょう力して、スイッチをおした。やった。三れんのせいこうだ」と、理科の豆電球の実験の時のようすを作文ノート十ページにもわたつて書いたのだ。彼の作文に友だちの名前が出始めたこと、「きょう力」「おかげ」「うれしい」そんなことばがふんだんに使われ始めたこと、うれしかった気持ちを素直に、意欲的に書いた

こと、私には、それが何よりうれしかった。

T夫の生活が変わつたことが彼の文章を変えた。また、その文章をみんなに紹介し、彼の心の成長をみんな喜び合うことで、生活がさらに変わった。給食週間に描いたポスターには、一年の時から二年間で、はじめて、大きな口を開け、目尻を下げて笑う友だちの顔が描かれた。

一年間の子どもの足あとである「なかよし」を読み返してみた。その時その時が、きのうのことのように思ひ出され、日々成長している子どもたちが頼もしく、愛らしく感じられた。

ほんとうに

大切なもの

童海中 加藤 政幸

力投の結果むなしく敗北のくじ一枚の重み悲しき (二雄)

これは、新人戦で葵中に抽選負けし、優勝を逸したあと、エースが国語の時間に作つた短歌である。

正直いつて私も新人戦には自信があった。それなのに延長戦で結着がつかず、抽選の結果敗れたのである。

「くじでも負けは負けだ。」

と、何度心の中でつぶやいたことか。一夜明けて、重い心をひきずつて登校した。生徒に何と言つたらいいか考えながら……

しかし、その私を待っていたものは、部員たちのいつもより元気のよいかけ声と、整列しての、「おはようございます。お願いします。」のあいさつであった。その声を聞きながら、私は勝敗にこだわらず生きていた今までの自分を反省したのである。

負けてくやしいのは生徒も同じいや、それ以上だろう。それを乗り越えてこれだけのファイトを見せる生徒こそが、私の誇る財産である。

「野球部の生徒は、本当によくあいさつをするし、マナーもすばらしいね。」

と、先生方がほめて下さる。あいさつが素直にできる、その心こそが本当に大切なものではないだろうか。人一倍負けず嫌いの私に、その心を教えてくれた生徒に感謝したい。

野球部員達は、冬のトレーニングも計画をたてて自主的にやっている。「場所が狭いことを理由にするのはやめよう。岡崎一狭いのなら、岡崎一工夫してがんばり、力をつけ、岡崎一強



くなろう」この信念のもと、バスケコート2面分の広さの中を34名の部員全員が元気に動き回っている。こんな素晴らしい生徒のために多くの想い出を作つてやりたい。満足のいく練習をさせたい。その結果として大きな想い出となる勝利の味を味わせてやりたいと思う。

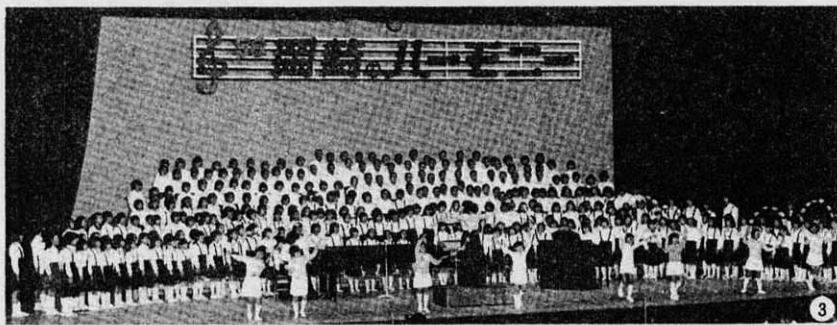
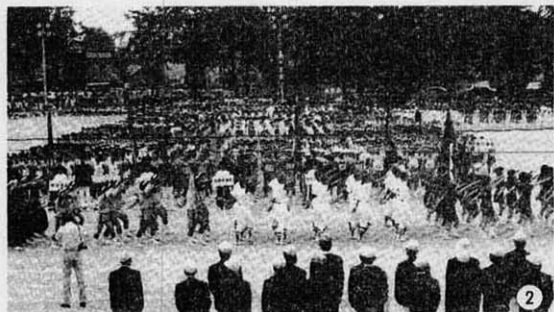
勝利は、そこへいくまでの過程を大切にしてこそ意味があると思う。中学校の部活動では、ことさらこの過程こそが大切なのかも知れない。そう思つて、春のシーズンを心待ちにしている。25歳の誕生日に生徒から贈られた、ノックバットを握りながら。

一年のあゆみ



▶「心の電話おかざき」開設
○七八三（オナヤミ）の方はぜひ
どうぞ
(八月七日)

9・23	9・13	9・11	9・9	9・1	8・22	8・16	8・8	8・7	8・6	8・4	7・21	7・19	7・4	7・1	6・23	6・12	6・2	5・10	5・3	4・17	4・1			
第二十四回吹奏楽祭 市民会館	第十四回中学校新人総合体育大会開始	根石小・美川中県学校緑化コンクール特選	岩津小研究発表会	月報「岡崎の教育」百号記念特集号発行	選手権大会で第三位入賞	竜海中男子バレー部第十一回全日本バレーボール中学生選手権大会で第三位入賞	ライプツヒ放送吹奏楽団と市内生徒多数共演 市民会館	生徒模擬市議会 市役所	「心の電話おかざき」を開設	現職教育各部夏季実技講習会開始	第十九回小学校水泳競技大会開始 井田小・葵中	小学校球技大会開始	第三十四回中学校市長杯総合体育大会開始 矢作中が男子・女子・総合とも優勝	「明日の岡崎を考える」第八回岡崎市民大学開催	①7・19 河合 隼雄氏 「親子関係を考える」	②8・2 諸熊 奎治氏 「くらしの中のコンピュータ」	③8・9 山崎 朋子氏 「女性史の窓から」	④8・16 外山滋比古氏 「ことば・ことば・ことば」	⑤8・23 早乙女 貢氏 「歴史と小説のあいだ」	⑥9・6 家城啓一郎氏 「八十年代、日本の課題」	市制施行六十五周年記念式典で二十五名が表彰 竜海文化交流学習で読売教育賞優秀賞を受賞	常磐小研究発表会	第八回岡崎子どもまつり 菅生川原	期待の新規採用教員一〇四名を迎えて辞令伝達式 矢作北中学校新設開校



①矢作北中学校市内十六番目の中学校として新設開校 (四月四日)
②第二十五回岡崎市中学校総合体育大会開会式 (五月十日・公園グラウンド)
③第八回岡崎のハーモニー (十一月二十二日・市民会館)

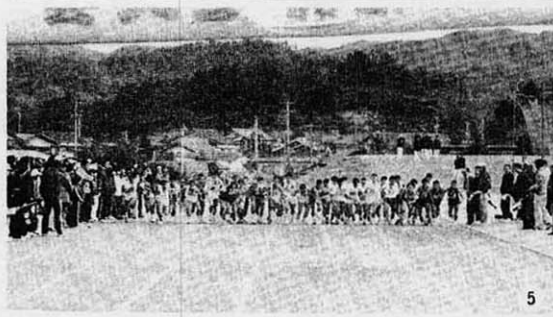


◀ 第二回中学生外国親善使節団アメリカへ（十月十五日～二十四日）



▶ 竜海中バレエ部全国大会で堂々三位入賞（八月二十二日・東京）

2・18	2・11	1・30	1・24	1・13	12・25	12・19	11・27	11・22	11・20	11・14	11・10	11・6	10・30	10・27	10・26	10・25	10・24	10・23	10・20	10・15	10・13	10・10	9・30	9・25			
海外研修報告会 働く婦人会館 第八回中学校サッカー競技大会 2・14まで ヘレンケラー展 レオ五階 2・23まで	海外研修報告会 働く婦人会館 第八回中学校サッカー競技大会 2・14まで	海外研修報告会 働く婦人会館 第八回中学校サッカー競技大会 2・14まで	第三十三回岡崎市民駅伝競走大会	第二十五回小中学校書き初め展 市美術館 1・17まで	第八回冬季研修会 少年自然の家 12・26まで	働く婦人会館視聴覚教育奨励賞受賞	全国自作視聴覚コンクールでビデオ作品三年連続入選 常磐中研究発表会	第九回岡崎のハーモニイ 市民会館	岡崎市学校保健大会で健康優良・よい歯の児童生徒表彰 城南小	第九回教育文化賞授賞式 竜美丘小	矢作北小研究発表会	常磐南小研究発表会	甲山中東海北陸地区中学校技術・家庭科学研究発表会	岡崎市現職教育園工・美術部会第十三回中日教育賞受賞	井田小研究発表会	第二十回小学校陸上競技大会 県営グラウンド	大樹寺小、学校保健統計調査で文部大臣表彰	第十八回造形おかざきっ子展 菅生川原	河合中野鳥保護活動で環境庁長官賞受賞	藤川小・美川中ソニー理科教育振興資金優良校受賞	第二十三回英語スピーチフェスティバル 太陽の城	竜美丘小日本初等理科教育研究発表会	アメリカへ第二回中学生親善使節団（生徒3・教師2）	第二十八回理科作品展 六名小	第二十八回中学校技術・家庭科作品展 市体育館	第三十一回岡崎教育研究会 連尺小・城北中	六名小研究発表会



5



4

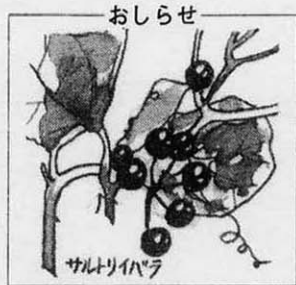


6

④ 現職教育園工・美術部会みごと第十三回中日教育賞に輝く
（十月二十七日）
⑤ 第三十三回岡崎市民駅伝競走大会
（一月二十四日）
⑥ 第八回冬季研修会、岡崎の教育を支える教師二四四名集まる
（十二月二十五日、二十六日）

昭和56年度研究発表校の研究動向一覽表

発表 月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料(研究物・講師・助言者)
6月2日	岡崎小学校	教育全般	自分の健康は自分の手で ——地域ぐるみの健康教育——	全日本健康優良学校特別優秀校の受賞を機に岡小の教育を発表。 「しなやかな心と体」の育成をめざした教育の実践研究をした。	研究物「健かな心と体」 講師 筑波大学教授 真仁田 昭先生
6月12日	常磐小学校	国語・算数	「基礎学力の育成」 大きな声で、正しくはつきり読む。正しく速く確かな計算をする。	四段階の指導過程を作り、音読の深まりを求めた。 具体物等を使い計算のしくみを理解させ、計算力の向上に努めた。	研究物「基礎学力の育成」 指導者 糟谷正孝先生、林勝己先生、岩月健先生、柴田録治先生、高橋十四男先生、豊嶋典明先生
6月23日	生平小学校	国語	豊かな語彙力を育てる指導	語集合を基礎に中心語句を選び出し、その語の意味や広がりを考える語彙的指導をすすめ、生活をふくらませる指導をめざす。	研究物「豊かな語彙力を育てる指導」 講師 神戸市外国語大学教授 安達隆一先生
9月9日	岩津小学校	教育全般	新しい教育課程の中での金銭教育の在り方 「物や金銭を大切にす る態度の育成」	・自分の持ち物やお金を大切に とり扱うことができる。 ・物やお金を合理的に活用したり 計画的に使うことができる。	研究物「新しい教育課程の中での 金銭教育のあり方」 助言者 愛教大 高橋大司先生 県教委 中村 巽先生
9月25日	六名小学校	国語	読む力をつける授業 ——音読・朗読を中心 として——	・音読・朗読を中心にした六名プランによる授業実践。 ・10分間読み聞かせ・家庭における10分間朗読なども併せて研究。	研究物「読む力をつける授業」 資料 授業展聞案・愛唱詩集 講師 愛教大助教授 甲斐睦朗先生他6名。
10月13日	竜美丘小	理科	事象を見つめ、関係づけて自然のきまりを追究する子どもの育成	観察と表現活動を基底にした授業の継続研究で、とくに教師の働きかけと子供の認識過程を重視した単元構成を重点に実践研究した。	研究物「自然と子ども」 「竜美丘小一5年の歩み」 講師 蛸谷米司、丸本喜一先生 助言者 猿倉三喜彦先生ほか5名
10月27日	井田小学校	体育	太陽と土と親しみ自ら運動に励む子の育成	・自ら励む力を育てる体育学習 ・生活化をめざす井田小の70分間運動 ・二発三快を基盤とした保健活動	資料「太陽と土に親しみ自ら運動 に励む子の育成」「遊び集」 「十分間運動」 指導者 丸地八潮先生(愛教大)
10月30日	甲山中学校	技術・家庭科	問題意識をたいせつにする授業過程 (自然栽培と環境調節栽培を通して)	・生徒が主体的に学習するための授業過程(問題把握・追究・検証)の構成 ・教材・教具の開発とそれを生かす授業過程	研究物「授業実践資料集」 資料「甲山技・家年間指導計画」 助言者 市橋 正一先生 河合 勝先生
11月6日	常磐南小学校	教育全般	「できる喜び」を追求する教育活動 ——ゆとりの時間の実践——	地域や小規模校の特性を生かした「ゆとりの時間」の効果的運用の推進。その中で「できる喜び」を、どう体得させるかを追求した。	研究物「力いっぱい」「常南生物の観察の手びき」 講師 愛知県教育委員会義務教育課主査 中村 巽先生
11月10日	矢作北小学校	教育全般	言語環境を整える ——美しく豊かな話しことばを求めて——	言語練習の系統化、言語指導事項の重点化、話し合い活動と言語生活の意識化、言語指導資料づくり等、言語環境の整備の実践研究	研究物「言語環境を整える」「ことばの練習」「心をむすぶ」 講師 名大教授 水谷 修先生 CBC参事 加藤明康先生
11月27日	常磐中学校	教育全般	ゆとりの時間を生かした「ときわの学習」 ——自主性の育成をめざして——	郷土に育つ自然や文化を、自らのテーマで、自らの方法で学ぶ「ときわの学習」を中心にして、自主性の育成をはかった。	研究物「ゆとりの時間を生かした『ときわの学習』」 助言者 糸 幸男先生 中村 巽先生



教育資料の収集着々進む

- 「寄贈刊行物・資料等」
- 永井玄蕃 梅園小学校 城殿輝雄
- 教職員海外研修報告書 岡崎市海外教育事情研究会
- 教育白書「ゆとりある岡崎の教育をめざして」 岡崎市小中学校教職員組合

である。

昨年度から「教育資料収集整理委員会」（委員長小林 續東海中長）が設けられ、教育に関する資料の収集活動が進められている。すでに三、〇〇〇点を越す資料が集められ、委員の手で、分類整理がなされている。

資料の収集にあたっては、各学校分は、校内の教育資料担当者（主として教務主任）が、各教科・領域、その他は委員がそれぞれ分担している。

教育資料委員会が設けられたのは、貴重な資料の散佚を防ぎ将来の教育資料センターを指向するためのものである。従って、研究物はもちろん、パンフレットや学校訪問・学芸会の脚本集に至るまで、提出していただくようお願いしたい。今年分の最後の収集は三月下旬に行う予定

である。

なお、収集した教育資料は現在、東海中学校に保管してあるが、学級増に伴ない四月からは美合小学校に移管される予定である。

●昭和五十六年度教職員海外研修報告会

本年度海外研修を終えられた先生方の報告会が、去る一月三十日（土）岡崎市働く婦人会館で行われた。一月末までに海外へ行かれた先生は四十六名（内公費九名）あり、それぞれの国の最新の情勢が報告された。

●第八回岡崎市中学校サッカー競技大会

- ▽優勝 城北中学校
- ▽二位 矢作中学校
- ▽三位 六ツ美中・福岡中

（二月十四日・城北中）

●第三十三回市民駅伝大会

- （中学の部・一月二十四日）
- ▽優勝 城北A▽二位 矢作A
- ▽三位 岩津A▽四位 東海A
- ▽五位 葵 A▽六位 城北B

●第八回岡崎市小中学校作文コンクール表彰（一月二十三日）

- ▽最優秀賞 宇野美也子 奥殿小
- 三浦 利洋 甲山中
- ▽優秀賞 村井亜也己 連尺小
- 中根 邦博 山中小
- 福沢 千晶 葵 中
- 鈴木 正統 東海中

▽優良賞九名▽努力賞二十九名

●昭和56年度県自作視聴覚教材コンクール

- ▽優秀賞 「米づくり農家の新しい動き」（ビデオ）ライブラリー・社会科部
- ▽優良賞 「ハクセキレイ」（スライド）明俊俊通（竜中）
- 「石匠」（8ミリ）ライブラリー
- 「心のふるさと村積山」（ビデオ）細川小学校
- ▽佳作 「田うえ」（ビデオ）「近くの商店がい」（ビデオ）ライブラリー・社会科部

●岡教組五十七年度役員決まる

- ▽委員長 大須賀明彦・連尺小
- ▽副委員長 二村 邦彦・福岡中
- ▽書記長 岡安 信彦・甲山中
- ▽書記次長 石川 春次・矢南小
- ▽組織部長 牧野 好博・東海中
- ▽情宣部長 清水 淳吉・美川中
- ▽教文部長 金子一元・竜美丘小
- ▽調査部長 鶴田紀美子・六名小
- ▽福対部長 金澤 強・南中
- ▽青年部長 杉坂 美典・六中小
- ▽婦人部長 松井きよ子・根石小
- ▽会計委員 藤井 孝弘・城北中
- ▽会計監査 中根 恒夫・岩津中
- 清水 厚治・城北中

昭和56年度 岡崎市中学校陸上・水泳最高記録 ○印は新記録

性	種目	氏名	校名	記録	種目	氏名	校名	記録
男	1年 100m	井沢 晋	甲山	○ 12" 2	100m 自	窪田 俊午	竜海	1' 01" 29
	100m	江田 康宏	甲山	11" 7	200m 自	小沢 勉	福岡	2' 20" 23
	400m	斉藤 雅博	美川	54" 8	400m 自	鈴木 茂生	矢作	4' 55" 49
	800m	水野 亨	葵	○ 2' 03" 4	100m 平	橋本 光弘	竜海	1' 12" 59
	1・2年 1500m	大塚 崇志	美川	4' 41" 3	200m 平	橋本 光弘	竜海	2' 40" 33
	3000m	服部 光幸	城北	○ 9' 08" 8	100m 背	遠山 健志	竜海	1' 12" 94
	100m H	明星 光信	附属	13" 8	200m 背	遠山 健志	竜海	○ 2' 34" 2
	110m H	明星 光信	附属	15" 7	100m バタ	畔柳 圭司	甲山	○ 1' 04" 45
	800m R	竹中、齊藤、山本、榮原	美川	1' 39" 3	200m バタ	畔柳 圭司	甲山	○ 2' 21" 96
	低 400m R	伊藤、中根、森田、曾我	葵	48" 9	200m 個	築山 克行	矢作	2' 32" 98
女	走 幅 跳	杉浦 宏幸	美川	6m 24	400m 混R	細井、平野、築山、伊藤	矢作	4' 44" 50
	走 高 跳	今井 章夫	葵	1m 75	400m R	築山、新居、鈴木、伊藤	矢作	4' 20" 2
	砲 丸 投	佐々木洋志	六ツ美	13m 30	800m R	築山、鈴木、新居、伊藤	矢作	○ 9' 24" 49
	棒 高 跳	太田 知憲	東海	3m 00	100m 自	渚 三和	甲山	1' 07" 9
	三種競技A	伊東 昭弘	矢作	2384	200m 自	渚 三和	甲山	○ 2' 26" 66
	1年 100m	佐野 順子	岩津	○ 12" 7	400m 自	紺野 恵子	竜海	5' 10" 1
	100m	山本 康代	城北	13" 0	100m 平	赤野 有理	矢作	1' 27" 1
	200m	田中 裕里	葵	27" 4	200m 平	岡根 久子	矢作北	3' 12" 4
	800m	川合小百合	葵	2' 30" 7	100m 背	岩月留美子	矢作北	○ 1' 16" 5
	100m H	鈴木千恵子	矢作	16" 1	200m 背	中根千代子	甲山	2' 48" 90
子	400m R	近藤、田中、安田、梅森	葵	52" 8	100m バタ	紺野 恵子	竜海	○ 1' 09" 37
	低 400m R	時田、佐野、森、梅村	岩津	54" 9	200m バタ	浅井世貴子	城北	2' 49" 79
	走 幅 跳	中間 洋子	矢作	○ 5m 28	200m 個	紺野 恵子	竜海	2' 46" 0
	走 高 跳	山田 厚子	甲六ツ美	1m 50	400m 混R	佐々木、赤野、橋垣、中根、平岩、岩	甲山	5' 18" 76
	砲 丸 投	鳥居 晶子	矢作	○ 12m 53	400m R	渚、中根、平岩、岩	甲山	4' 41" 56
	三種競技A	野田 智子	矢作	○ 2613				

大王龍神



所在地一岡崎市細川町門立

足助街道を仁木・岩脇・細川を過ぎ、坂を下ったところが門立である。ここで道は二手に分かれるが、この追分の右手にある小山の頂上に大王龍神はまつられている。

大正の昔、今は廃線となつてしまつた釜母線の電車が岩脇の駅から分かれ、門立まで走つて

いたことがある。この門立線が敷かれる二年前の大正十一年、柴田茂八という人が、自転車にひかれて死んだ大蛇を、夢のお告げでこの山頂に祭つたという。

信号わきの民家のかけに、「大王龍神、例祭毎年旧三月三日」

●カット

岩津中

中島純一

点

という小さな立て札がある。ここから右手に、細い山道を十分ほど登りつめると、頂上に幾百という大小さまざまな蛙の置物にとり囲まれた小さな祠がまつてある。賽銭箱の前にはいつも新鮮そうな生卵が幾つかそなえてあるのが目に止まる。

この龍神さまは下半身の病気に靈験あらたかで、女性の信者が多いが、おねしよもなおしてくれるというので子供のおまいりも多いらしい。供物の生卵にたどたどしいひらがなで名前が書いてあつたのがほほえましかった。

日本の本を

- 禅と人生 秋月 龍珉 1,600円
雪華社
- 日本語とタミル語 大野 晋 1,200円
新潮社
- 学び方教育の基礎理論 日本学び方研究会 1,700円
小学館
- ひとりっ子の本 依田 明 780円
情報センター出版局
- シリーズ 現代の子ど 稲村 博 880円
もを考える 全16巻 小川 捷之
共立出版
- 忠臣蔵意外史 熊代 照夫 980円
東京新聞出版局
- 姥ざかり 田辺 聖子 850円
新潮社
- 手縫いのころろ 森南 海子 1,100円
海竜社
- 文明の衰亡するとき 高坂 正堯 800円
新潮社
- 論語の読み方 山本 七平 690円
祥伝社

シオア

おくる人、おくられる人、ともに心をこめてうたう蛍の光、仰げば尊し。雨の日も風の日も通つた懐しい学び舎ともきようでさようなら。校歌をうたう声もとぎれがち。あちからもちちからもすすり泣きが……。こんな卒業式はひと昔前のこと。現代つ子たちはクルルに巣立っていく。

アスタマニアーナ……メキシコオリンピックの開催期日がせままっているのに、工事はなかなかほかどらず、あせる関係者に「明日、間に合うでしょう。」(確かこんな意味だっと思う)と答えたという。自分は、切羽詰まつた状態にならないと仕事を手にしない横着な性格。何歳になつても変わりそうもない。

少年、とりわけ中学生の犯罪が新聞紙上を賑わしている。シンナー、喫煙、学校破壊、暴力、万引きとその内容も多様化し、事の重大さを感じる。

こうした犯罪が連鎖的に起こり、しかも画一的であることも、近年の特徴である。世が挙げてその原因を謙虚に見つめ、改善に向かって努力しなければ……。

すべての道は吉良に通ずる

寒風吹きすさぶ馬頭原をぬけて、藤川から福岡まで旧街道を取材して思つた。この道もまた「吉良道」と呼ばれていたから。吉良といえは饗庭の塩と上野介。独占していた江戸の塩市場、新参赤穂に割り込まれた上野介の胸中、何かわかる気がする。テレビ見るべし、峠の群像。